

町村協会だより ④8 (胆振支庁管内厚真町)

「身体に障害はあっても心はバリアフリー」を合言葉に

第四十八回目として紹介する協会は、道内でも有数の米どころとして知られる胆振支庁地区身体障害者福祉協会厚真支部(近藤広春支部長)です。



胆振東部4町支部交流研修会

同支部は昭和三十八年八月に身体障害者福祉協会胆振支部の厚真分会として発足。その後、



会員同士で交流中

組織の発展に伴ない現在の厚真支部として活動が行われていきます。昭和二十五年に身体障害者福祉法が施行されたものの、障害者を取り巻く諸般の情勢は厳しく、厚真町を含む農村地域においても、厳しい時代でありました。そのような中、障害者が地域で安心して暮らせるよう歴代の会長をはじめ会員はたゆまぬ努力

を続け
てまい
りました。

現在、

厚真支部の会員数は五十七名。役員及び執行体制は、支部長、副支部長二名、理事十二名、監事二名、事務局長の十八名です。

主な年間行事及び活動内容

- ▼総会、役員会
- ▼胆振管内身体障害者スポーツ大会への参加
- ▼視察研修旅行
- ▼PGまたはレクによる地域ふれあい交流会
- ▼胆振東部身障者協会交流会の開催・参加
- ▼新年レクリエーション交流会等



厚真支部創立50周年記念式典での表彰

身障協会厚真支部のPR

同支部は、「身体に障害はあっても、心はバリアフリーで活動」を合言葉に、会員のみならず地域住民との連携・互助を大切にしています。また、役員、会員相互が積極的に意見を述べ、障害の程度に関わらず、誰もが参加しやすい活動に取り組んでいます。

視察研修旅行や地域レク交流会を通じて、会員同士の結束はとも強く、近年の胆振管内身体障害者スポーツ大会ではいつも好成績を修めています。

一方、会員の高齢化が進み、新たな加入者が減少してきているため、支部の存在意義を高め、活動内容を広く知っていただくことが課題の一つとなっています。

今後、次の十年、二十年を見据え、障害者福祉の向上につながる活動に尽力していきます。